【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成25年10月10日(2013.10.10)

【公開番号】特開2012-66391(P2012-66391A)
【公開日】平成24年4月5日(2012.4.5)
【年通号数】公開・登録公報2012-014
【出願番号】特願2010-210520(P2010-210520)
【国際特許分類】
Ｂ４１Ｊ　29/13　(2006.01)
Ｂ４１Ｊ　2/175　(2006.01)
Ｂ４１Ｊ　29/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ４１Ｊ　29/12　Ａ
Ｂ４１Ｊ　3/04　１０２Ｚ
Ｂ４１Ｊ　29/00　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成25年8月26日(2013.8.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
設置時の装置の高さ方向寸法が、少なくとも横幅方向寸法及び奥行き方向寸法のいずれか一方よりも大なる縦置き型に構成される記録装置本体と、
前記記録装置本体に対して着脱可能なインクカートリッジと、
前記インクカートリッジが装着される装着位置と、を有し、
前記インクカートリッジが記録装置の上面から前記装着位置に対して着脱可能な構成であることを特徴とする記録装置。
【請求項２】
請求項１に記載の記録装置において、
前記記録装置における上面に設けられ、記録された被記録媒体が排出される排出口と、
記録装置における上面において、開閉可能に設けられ、開いた状態では前記装着位置を露出させ、閉じた状態では前記装着位置を覆う第１カバーと、
記録装置における上面に設けられ、前記排出口を開閉可能な第２カバーと、を備えることを特徴とする記録装置。
【請求項３】
請求項２に記載の記録装置において、
前記第２カバーが開いているとき、前記第１カバーが開放することを規制する第１規制部と、をさらに備えることを特徴とする記録装置。
【請求項４】
請求項３に記載の記録装置において、
前記第１規制部は、前記第１カバーの開閉進路上に突出する前記第２カバーの一部で構成されることを特徴とする記録装置。
【請求項５】
請求項２ないし４に記載の記録装置において、
前記第１カバーが開いているとき、前記第２カバーが開放することを規制する第２規制

部と、をさらに備えることを特徴とする記録装置。
【請求項６】
請求項５に記載の記録装置において、
前記第２規制部は、前記第２カバーの開閉進路上に突出する前記第１カバーの一部で構成されることを特徴とする記録装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
上記課題を達成するため、本発明の第１の態様の記録装置は、設置時の装置の高さ方向寸法が、少なくとも横幅方向寸法及び奥行き方向寸法のいずれか一方よりも大なる縦置き型に構成される記録装置本体と、前記記録装置本体に対して着脱可能なインクカートリッジと、前記インクカートリッジが装着される装着位置と、を有し、前記インクカートリッジが記録装置の上面から前記装着位置に対して着脱可能な構成であることを特徴とする。

ここで、「記録装置の上面」とは、設置面に設置された状態の鉛直方向上方の面であって、設置面に対する全体の傾きが４５度以下の面をいう。「上面」は平らな面でなくてもよい。ある程度湾曲した面であってもよいのは勿論である。また、「上面側」とは、設置面に設置されたときの記録装置の中心を基準とした該記録装置の上面が設けられている側をいう。